

階層別選択研修（主査・係長級）

階層別選択研修（共同）

研修名	主査・係長級	受講者の声		
		企画調整力向上	主査級職員として必要となる、プロジェクトマネージャー・リーダーとしての能力、企画・調整に必要な点を集中して学べて大変勉強になりました。	
講師	(株)ビーコンラーニングサービス もりぐち けいじ 森口 敬司	期 間	2日間	
		会 場	各所属・各団体で指定する場所	
		予 定 人 員	県40人・市町村40人	
ねらい	実際の企画立案から企画作成までの「企画力」と、住民や仕事上の関係者の利害を調整するための実践的な「調整力」の向上を目指します。			
対象者	【県】令和4年4月1日現在、主査級の職に昇任後1年以上経過している職員 【市町村】主査・係長級の職員			
実施日	① 10月27日（木）・28日（金）（県20人・市町村20人） ② 11月10日（木）・11日（金）（県20人・市町村20人）			
手法	オンライン研修			
学 習 計 画				
日程	カリキュラム	時間数		内 容
		時	分	
1日 9:00 ～ 16:30	オリエンテーション	0	05	研修全般に関するオリエンテーション等
	企画調整力が求められる背景 企画立案の考え方	6	25	<ul style="list-style-type: none"> ・社会の変化と企画調整力の重要性 ・企画立案のステップ・手法を演習を交えて学ぶ <ul style="list-style-type: none"> ①テーマ選択の視点を学ぶ 評価指標設定 ②テーマの実現策を考える 問題解決モデル、パラダイムの見直し、アイデア案出方法、SWOT分析 ③実現策選択の視点を学ぶ 評価基準設定、マトリックス表による分類 ・演習
2日 9:00 ～ 16:30	企画書作成	6	25	<ul style="list-style-type: none"> ・演習と講評 ・プロジェクトリーダーが押さえるべき8つのポイント、ゴールまでのプロセスを共有する工夫 ・様々な調整（交渉）の種類とポイント ・行動特性から自分と相手のスタイルを分析 ・相手に合わせた調整（交渉）のポイント ・企画書に基づき、調整（交渉）設例を作る ・ロールプレイングと分析・講評
	企画書発表			
	企画の実現			
	調整（交渉）とは			
	タイプ別調整（交渉）			
	利害関係者との調整（交渉）			
	講義の振り返り等	0	05	質疑応答、アンケート記入等
備 考	<ul style="list-style-type: none"> ・県職員と市町村職員との共同研修（市町村研修コード NO.146～147） ・全2回実施 ・事前課題があります。 ※参考：通信教育講座の業務改善分野に関連する講座があります。			

階層別選択研修（共同）

研修名	主査・係長級	受講者の声		
	公共マーケティング ～民間企業の知恵を 行政サービスに活かす～	行政と民間、それぞれ経験された講師の話は大変興味深く、マーケティングの本質や公務員が陥りやすい問題点など、とても説得力がありました。 自分の視野の狭さに気づかされたとともに、積極的に情報収集することの必要性を認識できました。		
講師	一般財団法人 公共経営研究機構 理事 関山 祐介 <small>せきやま ゆうすけ</small>	期 間	1日間	
		会 場	各所属・各団体で指定する場所	
		予 定 人 員	県90人・市町村30人	
ねらい	マーケティングの基本概念を確認するとともに、戦略立案、マーケティング・マネジメントの手法を学び、政策形成や事業推進において実践的に応用するための能力を習得します。			
対象者	【県】令和4年4月1日現在、主査級の職に昇任後1年以上経過している職員 【市町村】主査・係長級の職員			
実施日	① 7月 1日（金）（県45人・市町村15人） ② 10月 3日（月）（県45人・市町村15人）			
手法	オンライン研修			
学 習 計 画				
日程	カリキュラム	時間数		内 容
		時	分	
1日 9:00 ～ 16:30	オリエンテーション	0	05	研修全般に関するオリエンテーション等
	なぜ自治体にマーケティング能力が必要なのか	6	20	<ul style="list-style-type: none"> 「シティセールス&シティプロモーション」の現状 マスコミからの裏話 マーケティングの理論1（P P M理論）
	インテリジェンシー力を磨いておく			<ul style="list-style-type: none"> 個人ワーク（チェックシート） まずは情報収集力がなければ話にならない 次に情報分析と構築力がなければ話にならない 自分の「脳みそ」には限界がある グループワーク（変化を読む）
	マーケティングの本質			<ul style="list-style-type: none"> マーケティングの理論2（いかに信者をつくるか） マーケティングの理論3（C S） マーケティングの理論4（4 Pと4 C） マーケティングの理論5（7 S） マーケティングの理論6（市場調査）
	企画シミュレーション			<ul style="list-style-type: none"> グループワーク
	まとめ 講義の振り返り等	0	05	<ul style="list-style-type: none"> 研修のまとめ 質疑応答、アンケート記入等
備 考	<ul style="list-style-type: none"> 県職員と市町村職員との共同研修（市町村研修コード NO. 148～149） 全2回実施 			

階層別選択研修（共同）

研修名	主査・係長級	受講者の声		
	クレーム対応	クレームは無くならないと思うので、この研修で学んだことを職場で共有して、組織全体がクレームに対して迅速に良い対応ができるようにしていきたいです。		
講師	(株) マネジメントサポート 喜多 朋子	期 間	2日間	
		会 場	自治人材開発センター	
		予 定 人 員	県20人・市町村28人	
ねらい	クレームに対する様々な対処法を講義・演習を通じて習得します。さらにはクレームに対する組織対応の重要性について理解を深めるとともに、組織対応力の向上に必要な職員間の役割分担やクレーム対応のシステム化について学びます。			
対象者	【県】令和4年4月1日現在、主査級の職に昇任後1年以上経過している職員 【市町村】主査・係長級の職員			
実施日	7月28日（木）・29日（金）			
手法	通所研修			
学 習 計 画				
日程	カリキュラム	時間数		内 容
		時	分	
1日 9:00 ～ 16:30	オリエンテーション	0	05	研修全般に関するオリエンテーション等
	CS（顧客満足）意識を持ったクレームの捉え方、考え方	6	25	・昨今のクレームの質の変化に対応するべく、クレーマー心理や行動とその対応策を学ぶ
	クレームが及ぼすリスクとは			・リスクマネジメントの基本的な考え方 ・未然防止、再発防止に必要な組織体制を学ぶ
	交流分析で見る自己理解と他者理解			・自己のクレーム対応傾向、強み、弱みを考える
	クレーム対応の実践			・クレームの流れと対応のステップを学ぶ
	事例研究			・事例を用いた対応法の検討・実践
2日 9:00 ～ 16:30	管理監督職として求められる能力	6	25	・クレームに対する責任ある対応、炎上させない対応力を学ぶ
	二次対応におけるクレーム対応			・二次対応者のアプローチ法など
	トラブル対応テクニックを学ぶ			・管理監督職としての説得力、交渉術を学ぶ
	クレームに強くなる部下指導			・クレーム対応を行った職員への指導方法
	難クレーム、悪質クレーム対応			・ハードクレームの捉え方、対処法を学ぶ
	クレームを活かした職場づくり			・日頃の対応の振り返り、課題化
	まとめ			
	講義の振り返り等	0	05	質疑応答、アンケート記入等
備 考	・県職員と市町村職員との共同研修（町村研修コード NO.150） ※参考：通信教育講座のコミュニケーション分野に関連する講座があります。			

階層別選択研修（共同）

研修名	主査・係長級	おすすめポイント		
	○ J T 促進研修（主査級）		○ J T の基本や重要性を理解し、実践的な知識を学びます。また、日頃の○ J T で悩むことが多いケースについて演習を行い、具体的なスキルの習得を目指します。	
講師	(株) マネジメントサポート たなか しのが 田中 志重	期 間	2 日間	
		会 場	自治人材開発センター	
		予 定 人 員	県 4 5 人・市町村 4 5 人	
ねらい	主査・係長級職員に求められる役割を認識し、部下・後輩に対する指導・育成を行う能力の根幹である○ J T のスキルを身につけ、効果的に人材育成を促進する方法を学びます。			
対象者	【県】令和4年4月1日現在、主査級の職に昇任後1年以上経過している職員 【市町村】主査・係長級の職員			
実施日	① 8月19日（金）・10月20日（木）（県15人・市町村15人） ② 9月7日（水）・11月8日（火）（県15人・市町村15人） ③ 10月21日（金）・11月25日（金）（県15人・市町村15人）			
手法	通所研修			
学 習 計 画				
日程	カリキュラム	時間数		内 容
		時	分	
1 日 9:00 ～ 16:30	オリエンテーション	0	05	研修全般に関するオリエンテーション
	主査級職員としての役割 コミュニケーション傾向分析 人は何に動機づけられるか ○ J T の進め方 ○ J T 指導法、求められる指導スキル	6	25	・求められる役割・能力の洗い出し ・コミュニケーションの弊害はなぜ生まれるか ・相手の意思、態度変容のプロセスを知る ・○ J T の基本ステップ ・仕事の進め方を教える ・指導育成の考え方
2 日 9:00 ～ 16:30	日常の部下・後輩指導を振り返る リーダーシップスタイル分析 指導スタイルの見直し 事例研究	6	25	・自身が受けてきた○ J T 指導、普段できていることできていないこと ・リーダーシップのスタイルを知り、活かす ・動画事例を確認しながら「クセ」を修正 ・こんな後輩をどう指導する？
	講義の振り返り等	0	05	質疑応答、アンケート記入等
備 考	・県職員と市町村職員との共同研修（市町村研修コード NO.151～153） ・全3回実施 ※参考：通信教育講座の業務改善分野に関連する講座があります。			

階層別選択研修（共同）

研修名	主査・係長級		受講者の声	
		働き方改革のための 業務効率改善（主査級）		働き方改革は仕事の量を減らすこと、と考えていましたが、業務の効率を上げることなのだ意識を改めました。他の自治体での成功例など、事例をたくさん挙げて説明していたので理解しやすかったです。
講師	(株) 行政マネジメント研究所 ごかん 後関 とおる 徹		期 間	2日間
			会 場	自治人材開発センター
			予 定 人 員	県75人・市町村45人
ねらい	働き方改革の本旨を理解し、主要課題である「長時間労働」を是正し、働きやすい職場環境の実現を目指します。タイムマネジメントの手法や業務改善に職場を巻き込むためのポイントを学ぶことで、チームでの働き方改革への取り組み方を習得します。			
対象者	【県】令和4年4月1日現在、主査級の職に昇任後1年以上経過している職員 【市町村】主査・係長級の職員			
実施日	① 8月29日（月）・30日（火）（県25人・市町村15人） ② 9月27日（火）・28日（水）（県25人・市町村15人） ③ 11月17日（木）・18日（金）（県25人・市町村15人）			
手法	通所研修			
学 習 計 画				
日程	カリキュラム	時間数		内 容
		時	分	
1日 9:00 ～ 16:30	オリエンテーション	0	05	研修全般に関するオリエンテーション等
	はじめに 働き方改革の背景と意義 「働き方改革」と地方自治体 タスマネジメント～上司・部下を巻き込むために～	6	25	・研修のねらいと全体像・要点の説明 ・事前課題の共有 ・働き方改革が求められる背景・目的 ・職場における働き方改革の意義 ・事例紹介 ・新しい時代への対応 ・自治体組織の特性 ・事業と業務、その管理手法 ・仕事の効率化の事例紹介 ・効率化事例（事前課題）の共有
2日 9:00 ～ 16:30	働き方改革を促進するタイムマネジメント	6	25	・タイムマネジメントのポイントや阻害要因 ・仕事の分析、スケジューリングの基本
	部下として、先輩職員としての職場形成 まとめ			・働き方改革に職場を巻き込むために ・3つのコミュニケーション、その特徴 ・4つのフォロワーシップ及び4つのリーダーシップ
	講義の振り返り等	0	05	・成長度合いの把握、職場での実践を目指して 質疑応答、アンケート記入等
備 考	<ul style="list-style-type: none"> ・県職員と市町村職員との共同研修（市町村研修コード NO.154～156） ・全3回実施 ・事前課題があります。 ※参考：通信教育講座の業務改善分野に関連する講座があります。			

階層別選択研修（共同）

研修名	主査・係長級	受講者の声		
	ゲームで学ぶ・自治体経営シミュレーション～公共政策の創造・発展に向けて～	豊富な経験に基づいたひとつひとつのお話が大変ためになりました。自治体経営においては、やみくもに事業を削減するのではなく、まずどこに重きを置いてどのような特色を出していくかというビジョンを鮮明に描く必要があることが理解できました。		
講師	明治大学 名誉教授 <small>あおやま やすし</small> 青山 侷	期 間	1日間	
		会 場	自治人材開発センター	
		予 定 人 員	県16人・市町村16人	
ねらい	<p>今後起こりうる地域の課題を、対話型自治体経営シミュレーションゲームを通じて体感しながら、自治体経営における長期的ビジョンの必要性、住民に対する説明責任の重要性等について理解を深めます。</p> <p>また、民間や市民の役割とのバランスを踏まえ、改めて公共の役割を見直すことで、これからの公共政策の創造・発展に向けた考え方を養います。</p>			
対象者	【県】 令和4年4月1日現在、主査級の職に昇任後1年以上経過している職員 【市町村】 主査・係長級以上の職員			
実施日	10月20日（木）			
手法	通所研修			
学 習 計 画				
日程	カリキュラム	時間数		内 容
		時	分	
1日 9:00 ～ 16:30	オリエンテーション	0	05	研修全般に関するオリエンテーション等
	自治体経営と公共政策	6	20	<ul style="list-style-type: none"> 自治体経営とは 公共政策とは
	現代における自治体の重要性			<ul style="list-style-type: none"> 時代の変化と行政の役割 地方自治の歴史と考え方 欧米の自治体と日本の自治体
	市場化と公共関与の問題			<ul style="list-style-type: none"> 相次ぐ市場の失敗 市場に対して公共がどう関与するか
	NPM（ニュー・パブリック・マネジメント）とガバナンス			<ul style="list-style-type: none"> NPM（新しい行政経営） 公平性と格差 公共政策
	市民の役割、行政の役割			<ul style="list-style-type: none"> 地域ガバナンスとは 現代社会の諸問題と自治体の役割 経済社会のグローバル化と市民や行政の関与
	自治体経営シミュレーションゲーム（SIM2040）			グループに分かれ、架空の自治体経営を行います。演習後、振り返り・まとめを行います。
	研修の振り返り等	0	05	質疑応答、アンケート記入等
備 考	<ul style="list-style-type: none"> 県職員と市町村職員との共同研修（市町村研修コード No.157） 参考図書（講義内容の理解を深めるために、事前学習や復習に最適な図書です。） 青山 侷 著『自治体の政策創造』（三省堂） 			